病歴要約作成について（2020年度研修医以降）

1. 病歴要約の作成について

- 病歴要約の作成は、PG-EPOCの『経験症候／疾病・病態 の記録』に登録をする。
- 該当項目を選びに入力する。
- メモ欄　病歴要約の内容を入力する。（875文字まで入力可能）
- **同一症例で3項目までの使用を認める。**
  考察等は必ず項目ごとに変更し、各症候や疾患・病態の項目ごとにPG-EPOCに作成し登録をする。
- 病歴要約等欄『☑病歴要約を提出した』にチェックを入れる。

2. 外部医療機関研修での病歴要約作成について

- 外部医療機関研修先での症例を病歴要約として作成する場合は、紙ベースで作成し研修先の指導医に承認を得る。
  また、PG-EPOCでも登録を行い、PG-EPOCの指導医承認は『卒後臨床研修センターの原副センター長（大森循環器内科 原 文彦）』に依頼する。
- 病歴要約の提出は、研修センターのホームページよりダウンロードした所定の書式に記載すること。
- 用紙サイズはA4サイズ、枚数は1枚とする。
  （外科手術症例については病歴要約に加え手術要約を記載する必要があるので2枚まで可とする。）
  （CPCについては各病院の書式に準じ、枚数の制限はなしとする。）
- フォントはMSP明朝・12pt・40行とする。

3. 病歴要約の内容について

① 病歴　（主訴・現病歴・既往歴・家族歴）
② 身体診察所見
③ 検査所見
④ アセスメント・プラン　（診断・治療・教育）
⑤ 考察
「考察」には1つ以上引用文献をつけること。

4. 外科手術に至った手術要約について

研修期間中に「経験すべき疾病・病態」の中の少なくとも1症例は、外科手術に至った症例を選択し、病歴要約には必ず手術要約を含めることが必要である。

- **26疾患・病態の中から1項目で作成する。**
  （29症候の項目では、認められない）
- **手術要約**（術式，手術内容）を必ず含める。

・ PG-EPOCの登録の際、下記の3つにチェック☑を入力する。

① 転帰欄　　☑手術あり

② 病歴要約等欄　　☑病歴要約を提出した

③ 病歴要約等欄　　☑手術要約を提出した

5. CPC, 剖検（剖検は大橋病院研修医のみ）

・ 紙ベースでの提出。

・ 書式については各病院のCPC作成書式に準じ、枚数の制限はなしとする。

・ 病理より指示のあった記載内容を網羅すること。

・ 臨床経過と病理解剖診断に加えて、CPCでの討議を踏まえた考察の記録が必要。

病歴要約の項目

経験すべき症候（29項目）

A-1	ショック
A-2	体重減少・るい痩
A-3	発疹
A-4	黄疸
A-5	発熱
A-6	もの忘れ
A-7	頭痛
A-8	めまい
A-9	意識障害・失神
A-10	けいれん発作
A-11	視力障害
A-12	胸痛
A-13	心停止
A-14	呼吸困難
A-15	吐血・喀血
A-16	下血・血便
A-17	嘔気・嘔吐
A-18	腹痛
A-19	便通異常（下痢便秘）
A-20	熱傷・外傷
A-21	腰・背部痛
A-22	関節痛
A-23	運動麻痺・筋力低下
A-24	排尿障害（尿失禁排尿困難）
A-25	興奮・せん妄
A-26	抑うつ
A-27	成長・発達の障害
A-28	妊娠・出産
A-29	終末期の症候

経験すべき疾患・病態（26項目）

（外科手術に至った手術要約を1項目選ぶ）

B-1	脳血管障害
B-2	認知症
B-3	急性冠症候群
B-4	心不全
B-5	大動脈瘤
B-6	高血圧
B-7	肺癌
B-8	肺炎
B-9	急性上気道炎
B-10	気管支喘息
B-11	COPD
B-12	急性胃腸炎
B-13	胃癌
B-14	消化性潰瘍
B-15	肝炎・肝硬変
B-16	胆石症
B-17	大腸癌
B-18	腎盂腎炎
B-19	尿路結石
B-20	腎不全
B-21	高エネルギー外傷・骨折
B-22	糖尿病
B-23	脂質異常症
B-24	うつ病
B-25	統合失調症
B-26	依存症